

概要報告書

2020 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	一般社団法人 Colabo
事業名	虐待、性犯罪被害女子の保護・自立支援及びシェルター運営事業
<p>本事業では、シェルターの運営を通して、虐待や性暴力被害にあうなどした中高生世代の女子を支える活動を行なった。虐待や貧困、生活困窮や性暴力被害などさまざまな困難を抱えながら、孤立し、安心して過ごせる場所や支援に繋がらずにいる少女を発見し支える「一時シェルター」と、「中長期シェルター」を運営した。</p> <p>一時シェルターは、虐待や性的搾取の被害から逃げてくる少女など 10 代～20 代前半の少女たちが利用した。中長期シェルターは、児童養護施設や少年院を退所した後に行き場をなくしたケースや、既存の福祉施設などでは受け入れ困難なケースを児童相談所からの保護委託で受け入れたケースがあった。バスによるアウトリーチ活動で声をかけたことがきっかけで、シェルターの利用につながった者もいる。軽度の知的障害や精神疾患、発達障害などの障害を抱えているケースや、中卒者、中学や高校への不登校者も多かった。シェルター利用後は児童福祉や女性福祉とつながり制度や他機関の施設を利用して暮らす、一人暮らしを始める、医療や福祉制度を利用しながら生活を続けるなどしている。</p> <p>コロナ禍で虐待や DV のリスクが高まる中、職を失ったり、漫画喫茶などで寝泊まりしていたため行く当てをなくしたりと、今日食べる物、泊まる場所にも困る少女たちからの相談が増え続け、シェルターでの緊急一時保護も多く行った。</p> <p>活動を続ける中で、シェルターが支援につながる拠点となるだけでなく、シェルターを利用したり対処した少女たちにとっての居場所ともなってきた。新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら、クリスマス会や年末年始合宿なども行った。</p>	
	
※中長期シェルターの様子	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。